

# 指定管理者からの平成22年度事業報告概要

施設名	岡山県岡山国際交流センター
-----	---------------

## 【指定管理者の概要】

名称	財団法人岡山県国際交流協会	代表者	理事長 末長 範彦
所在地	岡山県岡山市北区奉還町二丁目2番1号		

## 【指定管理の概要】

指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日	報告期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用等の許可に関すること。</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関すること。</li> <li>・国際交流に関する活動の推進、国際交流に関する情報の収集及び提供などに関する業務</li> <li>・そのほか運営に関すること 等</li> </ul>		

## 【管理体制の状況】

センター長(事務局長) (常駐)	センター長代理(事務局次長) (常駐)	総務課員 (常駐 6名、非常駐2名) 企画情報課員 (常駐 6名、非常駐1名、出向1名)
<民間事業者> 清掃業務・夜間機械警備業務・設備管理業務・設備保守点検業務 緑化管理業務		

## 【利用等の許可の状況】

		会議室等		合計
許可件数	22年度	4,304		4,304
	21年度	4,182		4,182
	増減	122		122

## 【維持管理の業務の実施の状況】

項目	内容
施設等の維持管理業務	清掃業務・夜間機械警備業務・設備管理業務・設備保守点検業務 緑化管理業務
会議室等使用許可業務	計4,304件許可 〔内訳〕 会議室関係：3,826件 貸事務所等：478件
情報相談コーナー・図書資料室の運営業務	相談・情報提供 計3,970件 図書資料室の利用 7,176人 多言語生活相談 60回、外国人のための無料法律相談11回 など
地域の国際化を推進する事業の実施等	外国語講座 計256回(中国語、インドネシア語)、日本語講座318回、地域共生サポーター研修会、災害救援専門ボランティア研修会、外国人のための多文化共生マップ作成 など

## 【利用料金の収入及び減免の状況等】

		会議室等		合計
収入額		77,457,175		77,457,175
利用件数		4,304件		4,304件
減免額		2,083,425		2,083,425
減免理由	・地域の国際化推進目的での利用・・・302件(2,083,425円)			

指定管理者からの平成22年度事業報告概要

【管理に係る収支の状況】

(単位：円)

		22年度	対前年度増減額	21年度	備考
収入額 A		132,632,725	7,603,088	125,029,637	22年度収入 その他の主なもの ・負担金収入 1,555,093 円 ・補助金収入 1,393,008 円
内 訳	指定管理料	48,178,045	710,045	47,468,000	
	利用料金収入	77,457,175	7,572,820	69,884,355	
	事業収入	602,630	602,630		
	その他	6,394,875	△1,282,407	7,677,282	
支出額 B		117,590,375	1,960,200	115,630,175	
内 訳	人件費	42,077,550	△1,105,445	43,182,995	
	管理運営費	66,458,716	4,114,858	62,343,858	
	事業費	9,054,109	△1,049,213	10,103,322	
	その他				
収支額 A-B		15,042,350	5,642,888	9,399,462	
県への納入金		-		-	
実質的な県負担額		46,235,609	575,216	45,660,393	

【特記事項（管理運営業務の実施状況の点検結果）】

点検項目	区分	特記事項（評価すべき点・改善すべき点）
管理運営状況	①適切な施設管理の履行	B 業務仕様書、事業計画に基づき、適切な管理が履行されていた。
	②法令等の遵守状況	B 関係法令に基づく義務は適切に履行されていた。
	③安全性の確保	B 施設・設備の点検等を専門業者に行わせ、その履行確認に努めるなど安全性を確保した管理が履行されていた。
	④財産の適切な管理	B 適切な修繕が行われ、備品管理も徹底されるなど、管理が適切に履行されていた。
導入効果	①利用状況	A サービス向上及び施設利用のPRに努めており、施設利用数は指定管理者制度導入以降、増加を続けている。 【施設利用者数(情報相談コーナー等含む)】 (H22) 157,094 ← (H21) 143,037 【施設利用者数(上記にパスポート利用を含む)】 (H22) 187,911 ← (H21) 174,543
	②収支状況	A 利用料金の増収、経費の削減に努め、安定した経営が維持されている。
	③サービス向上	A デジタルサイネージ(電子看板)を導入するとともに、イベントホールの机・椅子を購入し、より多くの利用者が多様な目的に利用できるようにする等のサービス向上に取り組んだ。
管理運営業務全般	B	協定書、事業計画書、収支計画書に基づき、適切に管理運営業務が実施されるとともに、サービス向上にも取り組んでいる。

※「区分」欄は、点検結果の区分。区分の内容は次のとおり

A：予定していた業務水準を上回った。

B：予定していた業務水準を概ね実施した。

C：予定していた業務水準の一部が実施できなかった。D：予定していた業務水準を下回った。